

2022年7月

No. 532

がいらいこんちゅう

外来昆虫ツヤハダゴマダラカミキリに注意！

ちゅうい

ツヤハダゴマダラカミキリは、体長約2~4cmの外来昆虫です。体は黒く、背中に白い斑紋があります。もともと中国や朝鮮半島に住んでいましたが、人間が運ぶ荷物にくっつき、世界中に広がっています。この虫の幼虫は、様々な種類の木の幹を食べ、たくさん枯らしてしまうため、大きな問題になっています。

日本では、主に本州（約10県）で見つかっています。富山県では、①少なくとも2010年には侵入していたこと、②2021年には射水、富山、魚津の3市で見つかり、特に富山市内にはたくさん住みついていること、などがわかってきました。この虫は、もともと日本に住むゴマダラカミキリによく似ています。そのため、気付かないうちに、もっと増えてしまわないか心配です。見分けるポイントは下の図の部分です。皆さんの家の周りにもツヤハダゴマダラカミキリがいないか、注意してみてください！（岩田朋文）

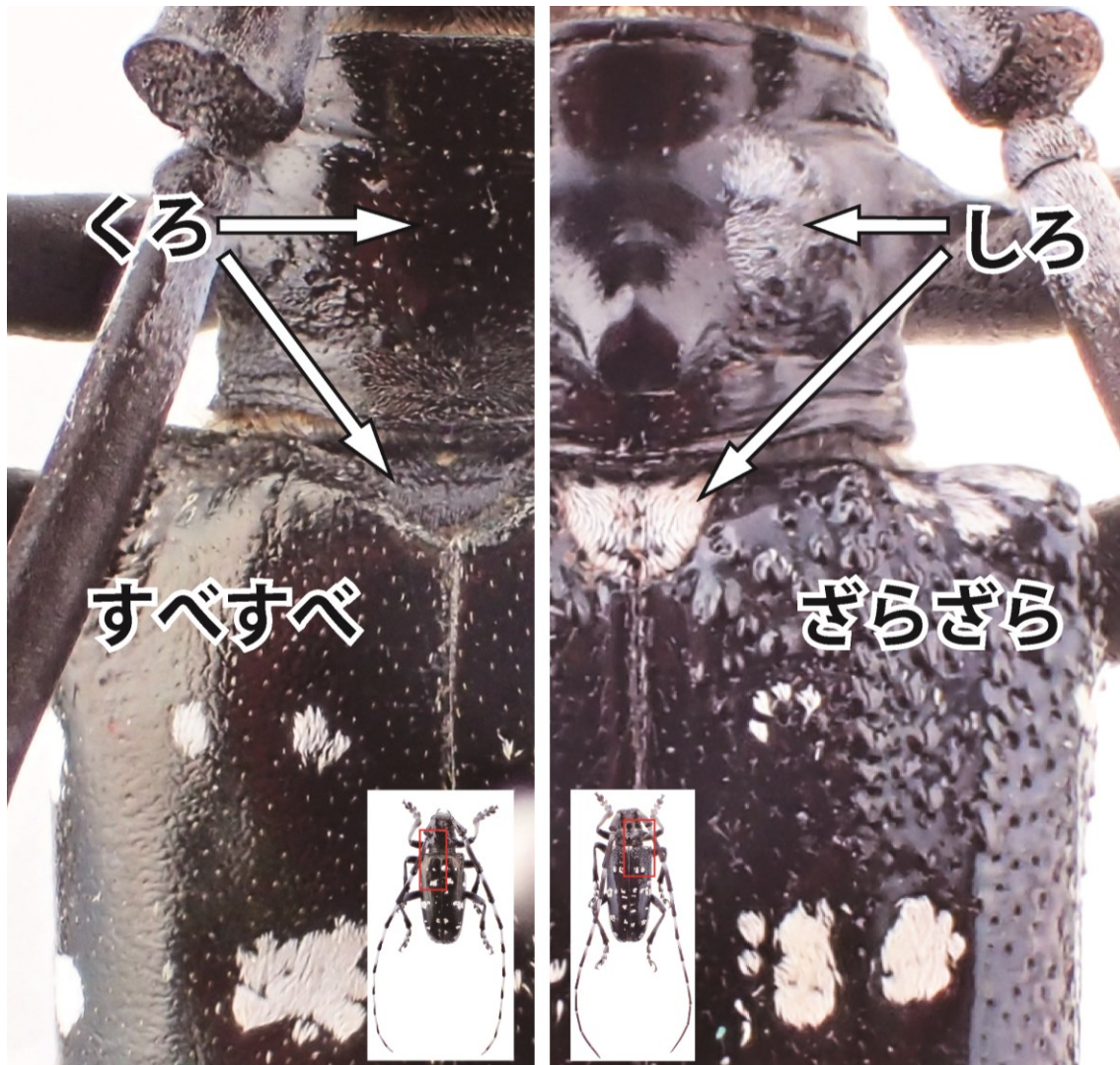


図 外来昆虫ツヤハダゴマダラカミキリ①と日本にもともと住むゴマダラカミキリ②の拡大写真

※ゴマダラカミキリの白い部分は、黒くなることがあります。

今月のかぐのギモン：ツヤハダゴマダラカミキリはどのように日本に来たの？
 （答えは当館HP www.tsm.toyama.toyama.jp/sqa を見てください）



PDF